

日大豊山水泳部の軌跡 11

平成 9(1996)年、から平成 11(1998)年まで、日大豊山高校水泳部はインターハイ 3 連覇を成し遂げる。



平成 9 年、15 年ぶりに 4 度目のインターハイ総合優勝を飾ったのは京都である。



中心となったのは、アテネオリンピック代表として200m個人メドレーで6位入賞を果たした森隆弘氏(写真中央)である。

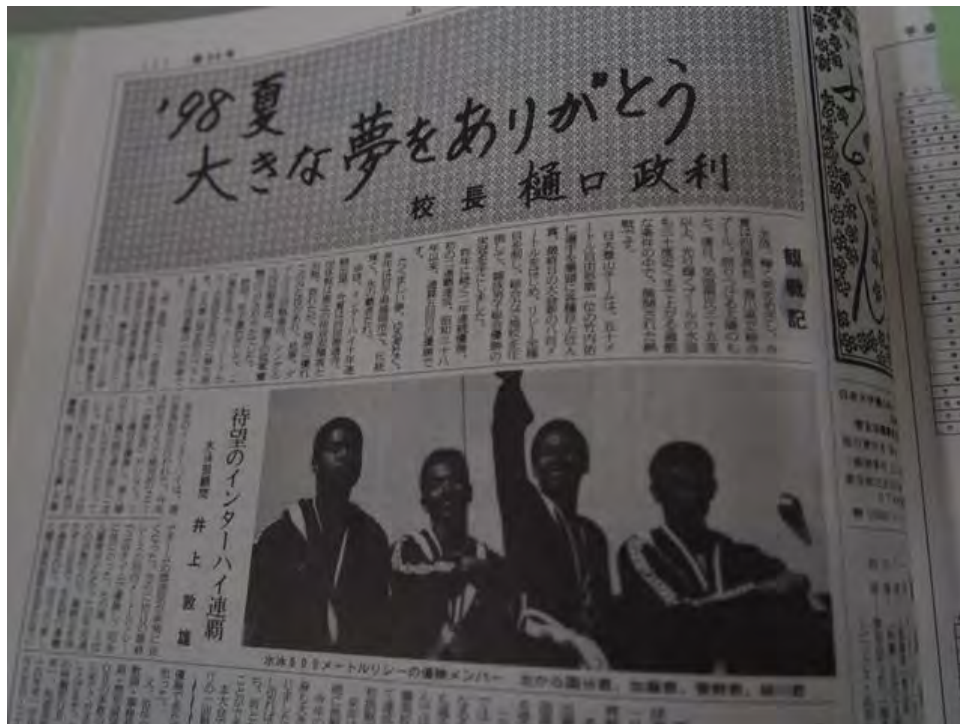
200m・400m 個人メドレーで優勝を果たした。

左は書道家の破留氏。



平成 10(1997)年は、香川インターハイで待望の 2 連覇、5 回目の総合優勝を果たした。

50m 自由形で優勝した竹内佑仁をはじめとし、リレー 3 種目で優勝を果たした。



そして、インターハイ3連覇、6回目の総合優勝は岩手インターハイである。

200m バタフライで木場瞬介、100m 背泳ぎで菅野貴規が優勝、リレーも全種目を制覇、400m リレーは高校新記録を更新した。

快挙!



400mリレー
3分32秒25

菅野 長倉
加藤 木場

高校新



種目	順位	名前	学年・籍
400mリレー	優勝	菅野 長倉	2年 大阪
	2位	加藤 木場	2年 大阪
	3位
100m	1位
	2位
200m	1位
	2位
400m	1位
	2位
800m	1位
	2位
1500m	1位
	2位
5000m	1位
	2位
10000m	1位
	2位
20000m	1位
	2位
40000m	1位
	2位

三連覇の瞬間
インヤルハヤ
...

男子 400mリレー

優勝 日大豊山高校(東京)
2位 近大附属高校(大阪)
3位 報徳学園高校(兵庫)



編後記
...



この3年間は日大豊山水泳部にとってまさに黄金時代であった。